

長期研修(3か月)研究内容検討会を終えて・・・

まとめの時期に入りました

11月28日(月)に長期研修生(3か月)の研究内容検討会を行いました。

研修生は、前回の研究計画発表会の時に比べると、内容も充実しており、自信をもって発表できました。今後は、内容検討会での指導・助言を生かし、さらに研究内容の充実が図られることとなります。



11月は長研ゼミナール 充実のラインナップ

11月は熊田次長、大川特別支援課長、川嶋情報教育課長、倉持主査が講師を務める長研ゼミナールが合計4回ありました。それぞれの講義について長期研修生にインタビューしてみました。

熊田次長の講話から

「『教育に対する志をもち続けよう!』という言葉が印象に残りました。経験豊富な方からの言葉だけに、初心を思い出しました。」

大川特別支援課長の講義から

「『合理的配慮』の大切なポイントとして、本人と家族、学校などの関係者がお互いに合意形成を図らなければならないということが挙げられていました。研修が終わって、現場に戻ったら、この点を改めて意識していきたいと思います。」

川嶋情報教育課長の講義から

「スティーブジョブズは、たった5分のプレゼンのために、膨大な時間をかけて準備をしているというエピソードがすごく心に残りました。研究発表会でのプレゼンも、聞いている相手に分かりやすいものになるよう、努力していきたいと思います。」

倉持主査の講義から

「『時間は有限である。仕事の成否は段取りが8割。』という言葉が印象に残りました。今後の仕事をする上での指針が得られました。」

それぞれの講義が長期研修生の心に響いた内容でした。

散策でリフレッシュ

教育研修センターの周りの木々の葉もだんだんと落ち、冬模様となってきました。

昼休みになると、長期研修生も互いに誘い合って散策する様子が見られます。散策することで、季節の移ろいを肌で感じられます。散策する途中で、モグラがトンネルを掘った跡を見つけました。午後の仕事の能率を上げるためにも、心身ともにリフレッシュするひと時も大切ですね。

